

日高市立高萩小学校における働き方改革基本方針（令和8年5月）

～子どもたちへのよりよい教育を実現するために～

現状・課題

- （令和8年3月期勤務状況調査から）
- ・月45時間超の割合…17.1%
 - ・年間360時間超の割合…40%
- （令和7年度年次有給休暇取得日数5日未満の人数）
- ・1人
- 時間外在校等時間の削減は進むが目標は未達成
 - 教職員の意識は高まっているが、恒常的な業務改善が必要

目的

働き方改革の推進によって、
子どもたちへのよりよい教育
を実現する

目指す教職員の働き方

- 子どものための効果的・効率的な業務
- 多様なワークライフスタイル
- 未来の自分への投資時間の確保
- 「個業」から「協働」、「チーム学校」

目標

時間外在校等時間

- ・令和9年度末までに「月45時間以内、年間360時間以内」教職員割合100%
- ・令和11年度末までに月平均30時間程度

「働きやすい」「働きがいのある」職場環境

- ・年次有給休暇取得日数5日未満ゼロ
- ・ストレスチェック「働きがい」評価3以上の割合90%

取組の柱「3つの視点」と主な具体的な取組

①負担軽減・業務量削減



- 適正な年間授業時数の設定
- 教科担任制の推進
- ICTを活用した調査・報告の効率化・会議資料等のデータ化
- メール配信システムを活用した配布物のデータ化
- 電話対応時間の設定18時まで

②ワーク・ライフバランス



- 教職員の心身の健康の増進
=子どものより良い成長
- 週休日の振替や調整の確実な取得
- 年次有給休暇取得の推進
- 自己研鑽の時間の確保

③保護者・地域の理解と連携



- 登下校時の通学路における高萩地区防犯・萩っ子見守り隊の見守り活動
- 「月1回ふれあいデー」の設定と確実な実施
- 市民、保護者等の理解促進
- 学校運営協議会との連携

フォローアップ

- 時間外在校等時間の適切な把握と教職員への周知・指導・助言
- 年次休暇の取得状況の把握と声かけ
- 子どもたちへのよりよい教育実現のための職場環境についての話し合い
- 学校運営協議会で進捗状況の報告